

## 別 紙

静岡県社会福祉協議会ふれあい基金  
ボランティア活動等活動推進助成事業申込書

申込助成種類		<input checked="" type="checkbox"/> 活動推進助成 <input type="checkbox"/> 先駆的(モデル的)活動助成 (○をつけてください。)			
① グループ・団体名		静岡福祉文化を考える会			
② 代表者役職・氏名		(役職) 代表 平田 厚			
③ 所在地		(〒420-0841) 静岡市葵区上足洗 3-7-15-5 TEL 054(246) 1486 FAX 054(246) 1486			
④連絡先		担当者 氏名	古屋貴彦		
		郵送先 住所	〒420-0886 静岡市葵区大岩 2丁目41-4		
		TEL	090-3364-7493	FAX	
		Mail			
グループ・団体の概要	⑤結成(設立)	平成8年9月1日	⑥会員数 24人	男性 18人 女性 6人	
	⑦主な活動内容	<p>(簡潔に記入してください)</p> <p>世代や領域を超えて、福祉やボランティア活動に関わる会員が、地域が抱えている地域全般のさまざまな課題解決・改善に市民の視点で21年間取り組んでいる。</p> <p>活動基調は、「専門性と市民性を融合」「地域総合型・公開型実践活動の取り組み」「市民主体で新たな地域課題解決の取り組み」の3つを掲げている。</p> <p>年4回の公開型研修会・研究セミナー等の開催、関係団体等と協働による実践活動の取り組み、市民レベルの調査研究活動、啓発活動等に取り組んでいる。</p> <p>ここ3年間は、「ご近所福祉」を課題に、若者の存在と地域参加のきっかけづくりの働きかけに努めている。</p>			
	⑧予算状況	収入総額 81千円	支出総額 81千円		
		助成団体名	助成年度	助成金額	助成内容
	⑨これまでに受けた助成	みずほ教育福祉財団	H20	150千円	ワイヤレスアンプ機材購入
		中日ボランティア賞 奨励金	H20	150千円	協働による地域実践活動
		赤い羽根共同募金「安心安全な街づくり支援事業」	H20	200千円	「長寿者の生きがいとその意識と実態調査事業」
赤い羽根共同募金		H27	445千円	「若者発 ご近所福祉かるた」の作成と地域学習における活用	
静岡市V連団体協議会		H28	30千円	ご近所福祉その意識と実態調査活動支援	

	明日の日本を創る協会	H28	30千円	ご近所福祉その意識と実態 調査活動支援他活動費
	鈴与マッチングギフト	H28	97千円	「若者発 ご近所福祉かるた (拡大版)」の作成と地域学 習における活用
⑩現在申込して いる助成			千円	
⑩現在申込して いる助成			千円	
⑪申込事業名称	「地域ぐるみの居場所 その意識と実態」を検証する。			
⑫事業の目的及び効果	<p>(具体的かつ簡潔に記入してください。)</p> <p>&lt;目的&gt;福祉の多様化、複雑化の時代を迎え、いま、各地で“居場所”への関心が高まっている。これまで、本会が取り組んできたご近所福祉から、一步踏み込み、世代や領域を超えた「地域ぐるみの居場所」のあり方について、市民レベルで、住民の意識と実態を把握するとともに、浮き彫りになった課題を身近な地域で「ワークショップ」をもち、課題提起し、住民の意識啓発と共に、地域活動参加を働きかける。</p> <p>&lt;効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活圏域での「居場所」とは何かを啓発学習する機会を創る</li> <li>(2) 生活圏域の居場所の必要性を問う機会を創る</li> <li>(3) 若者に地域の現状を学ぶ機会を創り、共生社会実現を語り合う機会を提供する。</li> <li>(4) 生活圏域で、公開型研修の機会を創り、検証結果をもとに「居場所」のあり方を「共助」の視点で課題提起をする</li> <li>(5) 検証結果をもとに、市民に、広く生活圏域の地域づくりへの参画を呼び掛ける</li> <li>(6) 市民の視点で、身近な地域との連携を創り、「地域ぐるみの居場所」実現へのプロセスを実践する。</li> </ul>			
⑬事業内容及び計画	<p>(時期、場所、参加者、実施内容等を具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 居場所学習会の開催（期間中4回、調査項目、調査方法、調査考察）</li> <li>(2) 意識と実態調査の実施（約1,000名対象に依頼）</li> <li>(3) 公開型研修会の開催（調査結果をもとに「ワークショップ」）</li> <li>(4) 居場所開拓に関して、地区に入り、住民主体の学習会の取り組み</li> <li>(5) 調査報告書の作成（200部作成し、地域総合型学習に活用）</li> <li>(6) 集まる「居場所」づくりの提言</li> </ul>			
⑭事業費の内訳	項目	内訳(積算根拠)		金額
	謝金	協力費 5,000×4回×4名		80,000
旅費交通費		地域との連絡調整旅費 2,000×10回		20,000

	通信運搬費	事前連絡通信費 82×100 調査依頼費 82×200 調査事後連絡費 82×200 報告書送付 82×100	49, 200円
	消耗品費	パソコンインク代 10,000 上質紙 5,000 発送用封筒 3,000 ラベルシール等 2,000	20, 000円
	印刷製本費	報告書 500×200 部 リソ印刷 5×1500×2 フィルムマスター代 200	115, 200円
	賃借料	会場費 4,500×3 回	13, 500円
	会議費	居場所学習会 4 回×10	4, 000円
	備品費		
	保険料		
	合 計		301, 900円
	助成申込額合計 (千円未満切捨て)		300, 000 円